# 中井博幸の市議会報告

令和4年12月議会号 (第43号)

# 今回は市議会で議論されている市立病院の建替え特集です

## 市立病院の現況

箕面市立病院は昭和56年に開院して41年が経過した大阪府内で一番古い公立病院です。平成16年から約2年間かけてって成16年から約2年間かけてったはと外装・内装工事を行ったとり装が目にする範囲に対して、皆様が目にする範囲に対したが、その大幅な改修を行っていたは設備の大幅な改修を行って化がよりによりながあるが分からない状態です。ま



給水設備の漏水

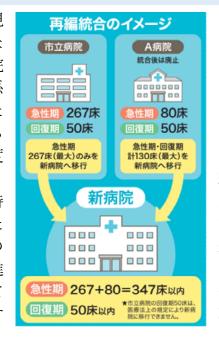
た、最新の医療機器は重量化しているので導入できる医療機器類も限られています。平成27年に市議会に病院の建替えが提案されましたので、様々に検討した結果、大規模改修や現地建替えではなく、令和6年までに交通利便性が大きく向15年に交通利原性が大きなが同年に決まっています。

#### 求められる新病院の規模と地域の医療環境

地域の医療需要と、新病院が目指す断らない救急や、ガンなどの5大疾病へ対応できるように医療機能の充実・強化を図れば1日の推計入院患者数が300~315人程度になることから、急速な治療が目的の急性期病床300~350床と急性期後の回復期リハビリ病床を備える必要があります。しかし、国の制度で、箕面市が属する豊能二次医療圏の病床数が決め

られています。豊能二次医療圏は急性期病床が過剰で、病院の建替え時に急性期病床の増床が認められません。新病院を市民の命と健康を守るための医療需要に応え、コロナなどの感染症対策や広域災害時に対応することが出来る地域の拠点病院として機能させるには、制度上認められる現病院の急性期病床のみの267床では足りず、増床が必要です。

# 病 床 確 保 の 方 策



べきである』などの答申が出されました。再編統合制度とは、イメージ図圏内ように市立病院が豊能二次医療に大変との病院と合併して、建設予定地ととする所にと合併して、建設予定地ととするの病院を登り、に応えるとをの新公立病院を建設の方にであるです。答明を受け、同医療を受け、同医療の方にをは、対象となる病院をであるです。となる病院をであるが、対象となる病院をであるにであるが、が、立病院である新市立病院である新りである。とを希望しています。

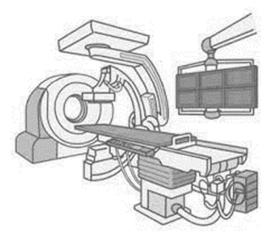
### 新病院の運営手法

再編統合制度を活用すれば、新病院は公立病院として箕面市が整備し、運営は再編統合先の法人が指定管理者として担います。公募条件は、公立病院として担うべき救急医療や小児医療、災害時や新興感染症医療等の政策医療や、ガンや心臓病、脳血管症などの5疾病を含む必要とされる診療科目を行うこと。現職員が希望すれば原則新病院が受け入れるこ

となどが主なものです。今後は公募に応募してくれた医療法人と様々な条件を協議し、指定管理者にふさわしい法人を選定する作業に入ります。指定管理者は、最低でも1年程度の現病院の運営と、新病院開設後20年間病院を運営する予定です。新病院を指定管理者に任せきりにせず、運営状況等を専門家を始め多方面からチェックできる制度も作ります。

### 整備スケジュールと施設の整備方針

新病院は、北大阪急行線の営業開始が3年遅れたことから新病院の整備時期も3年程度遅れてしまました。建替えが急務なことから、整備手法を見直し工期が短にきるDB(設計・施工一元化)方式などを活用して令和7年度の開院を目指のではます。整備事業費は最大規模のします。整備すれば325億円と見めるにますが、国が推し進めるまれていますが、国が推しとで、再編統合制度を活用することで、



国から40%の補助金を受けて建設することが出来ます。新病院は府内公立病院として初めてとなる全室を個室化しますが、制度上、有料個室は3割しか認められなによりの7割は無料個室に入院環境の大幅な改善を目指して入院環境の大幅な改善を目指しています。また、最新の情報システ系を表が駆使できる設備の導入など、発展するデジタル技術にも対応可能な最新鋭の病院を目指しています。

# 中井ひろゆきの意見

病院の設備状態からいっても、建替えは喫緊の課題ですが、審議会で一番の論点になったのは新病院の規模です。現市立病院は病床数が少ないことで診療科目も限られており、市の医療需要を十分に満たしているとは言えません。

また、症例数も少ないことから意 欲のある医師が働きたいと思える。 魅力ある病院とは言えません。 院の激戦地域となっている豊能二 次医療圏で新病院が勝ち残っても 疾医療圏で新病院が勝ち残っためには、病院の規模に加え病 院経営の手腕も重要になります。 公立公営方式は、運営責任が応じ でないことから、その時々に た運営判断や思い切った投資も出

来ず、地域で埋没した魅力のない公立病院から脱却できません。新病院の予定地は、立地条件が格段に向上することから今以上の医療需要が見込まれます。この機に再編統合制度を活用して医療需

要に見合う規模の病院を整備するとともに、民間のノウハウをうまく活用して働く人にも魅力ある病院にする必要があります。新市立病院を公立病院として機能させるために最も大切なことは、再

希望する患者さんにレンタルした医療端末からの データを病院が一括管理し、異常が見つかれば、 すぐに本人やかかりつけ医に知らせるようなシス テムを構築する必要があると思います。



箕面市政の相談は箕面市議会議員中井博幸ご相談ください。 住所:箕面市桜4-7-28 III:721-3230 FAX:722-8582 メールアドレス nakai.7974@gmail.com